

第246回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和7年2月25日（火）15時00分～15時25分
場 所 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

出席者

（評議員）中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内・小林 各理事 塙副学長
服部・小泉・中山・岸上 各学域長、幸田附属図書館長
田中・大塚・武井・大山・石平・川村・飯山 各教授
（列席者）井上・島 各学長補佐、小俣・數野 各監事
志村・土屋・深澤・壬生・雨宮・望月・石原 各部長
永倉・植村・齊藤・岩元・大坂・笹原・大森・千野 各課長

議事要録確認

第245回教育研究評議会（R7.1.27開催）議事要録を確認した。

報告事項

- 1 令和7年度からの全学共通教育改革について
奥田理事から、資料1により、令和7年4月以降の入学生を対象に開始する新たな全学共通教育の概要について報告があった。
- 2 令和7年度山梨大学一般選抜志願状況（確定）について
奥田理事から、資料2により、令和7年度（令和6年度実施）における標記志願状況について報告があった。
- 3 教員の採用（昇任）報告について
片田理事から、資料3により、教員の採用（1名）及び昇任（1名）を行ったことについて報告があった。

審議事項

- 1 大学間協定の締結（案）について
茅理事から、資料4により、環境科学やワイン科学等分野の連携深化や新規連携分野の拡大等に向け、ノヴァ・ゴリツァ大学（スロベニア）と新たに包括的な交流に関する大学間協定を締結することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 2 学校法人北里研究所北里大学との包括的連携協定の締結（案）について
市川理事から、資料5により、創薬研究と胚培養士育成を中心とした連携の推進に向け、北里大学と標記協定を締結することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 3 空飛ぶクルマの社会受容性の向上に関する連携協定の締結（案）について
市川理事から、資料6により、山梨県、国立大学法人九州大学、MS&AD インターリスク総研株式会社、日本航空株式会社及び本学において、空飛ぶクルマに係る社会受容性の向上に資する取り組みの推進、及び県内における次世代エアモビリティの社会実装を推進するため、標記協定を締結することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 令和7年度研究休職者（案）について

片田理事から、資料7により、研究休職制度を活用した有給（代替措置あり）に医学域から3名の申請があったことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

木内理事から、有給としても、海外で活動するには円安の影響により、厳しい状況にある旨の発言があり、片田理事から、旅費なども含め、為替レートの変動に対応した方法などを検討する必要がある旨の発言があった。

5 大学管理スペースの使用許可（案）について

市川理事から、資料8により、標記使用許可（6件）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

- ・片田理事から、情報セキュリティ研修をEラーニング（オンデマンド配信）で実施しているので、学域等においては受講するよう周知していただきたい旨の依頼があった。

- ・市川理事から、2月19日の夕方に水素・燃料電池ナノ材料研究センターにて小火が発生したことの報告があった。研究機器の被害については確認中であり、ゴミ箱に捨てた触媒分散液が染み込んだ紙が発火原因の可能性のある旨の報告があった。

片田理事から、薬品の管理が重要であることから、点検を早急に行っていただきたい旨の発言があった。

※ 次回は、令和7年3月26日（水）15時00分から開催することを確認した。